

<p><b>1 家族地域へのあいさつ等</b></p> <p>生徒は、家族や地域の方に対するあいさつや場に応じた言葉遣いができている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が85%、保護者が88%、生徒が95%、教職員が86%となっている。</p> <p>▲生徒の意識と大人の意識に差がある実態が伺える。R2年度と比較すると保護者が6%低下、教職員が11%向上している。</p> <p>◇「あいさつが飛び交う〇〇中校区」等をキャッチフレーズとした「あいさつの向上」を天草市教育委員会からも今年度の重点項目として挙げてある。継続的な呼びかけや教職員側の率先垂範も必要である。</p>																														
<table border="1" style="margin: auto;"> <caption>あいさつ等の実施状況</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4</th> <th>評価3</th> <th>評価2</th> <th>評価1</th> <th>評価0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>85%</td> <td>15%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88%</td> <td>12%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>95%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>86%</td> <td>14%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0	学校関係者	85%	15%	0%	0%	0%	保護者	88%	12%	0%	0%	0%	児童生徒	95%	5%	0%	0%	0%	教職員	86%	14%	0%	0%	0%	
対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0																										
学校関係者	85%	15%	0%	0%	0%																										
保護者	88%	12%	0%	0%	0%																										
児童生徒	95%	5%	0%	0%	0%																										
教職員	86%	14%	0%	0%	0%																										

<p><b>2 稜南中の誇り</b></p> <p>生徒は、稜南中に誇りを持っている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が88%、生徒が91%、教職員が82%となっている。</p> <p>▲教職員は、R2上期と比較して10%低下している。</p> <p>◇「稜南プライドを持ち、信頼される生徒の育成」に向けて、ホームページや学校メールの活用、新聞投稿の推進など積極的な情報発信を心がけていく必要がある。</p>																														
<table border="1" style="margin: auto;"> <caption>稜南中の誇り</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4</th> <th>評価3</th> <th>評価2</th> <th>評価1</th> <th>評価0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88%</td> <td>12%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>91%</td> <td>9%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>82%</td> <td>18%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0	学校関係者	100%	0%	0%	0%	0%	保護者	88%	12%	0%	0%	0%	児童生徒	91%	9%	0%	0%	0%	教職員	82%	18%	0%	0%	0%	
対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0																										
学校関係者	100%	0%	0%	0%	0%																										
保護者	88%	12%	0%	0%	0%																										
児童生徒	91%	9%	0%	0%	0%																										
教職員	82%	18%	0%	0%	0%																										

<p><b>3 交通ルールを守り登下校</b></p> <p>生徒は、交通ルールを守り登下校できている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が92%、保護者が94%、生徒が97%、教職員が59%となっている。</p> <p>▲教職員は、59%となっており、他との意識の差が見られる。理由としては下校時、自転車通学生に転倒が発生したことが考えられる。</p> <p>◇登校時もそうだが、より集団となる下校時の交通指導については、部活動終了時等の継続的な指導や全校集会等の機会での担当からの定期的な発信を継続する。</p>																														
<table border="1" style="margin: auto;"> <caption>交通ルールを守り登下校</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4</th> <th>評価3</th> <th>評価2</th> <th>評価1</th> <th>評価0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>92%</td> <td>8%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>94%</td> <td>6%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>97%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>59%</td> <td>41%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0	学校関係者	92%	8%	0%	0%	0%	保護者	94%	6%	0%	0%	0%	児童生徒	97%	3%	0%	0%	0%	教職員	59%	41%	0%	0%	0%	
対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0																										
学校関係者	92%	8%	0%	0%	0%																										
保護者	94%	6%	0%	0%	0%																										
児童生徒	97%	3%	0%	0%	0%																										
教職員	59%	41%	0%	0%	0%																										

<p><b>4 自分の命や人権</b></p> <p>生徒は、自分の命や人権を大切にしている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が95%、生徒が98%、教職員が82%となっている。</p> <p>▲R2年度と比較して教職員は18%低下している。SNS等の普及が関連しているものと思われる。</p> <p>◇自分の人権を大切にすることと同じように他の人の人権も大切にしていける実践力が必要である。人間関係づくりには継続した取組が必要であることが本校の研究でも示された。</p> <p>ソーシャルスキルトレーニングを核とした実践や言語環境の整備を継続していくことが大切である。</p>																														
<table border="1" style="margin: auto;"> <caption>自分の命や人権</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4</th> <th>評価3</th> <th>評価2</th> <th>評価1</th> <th>評価0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>95%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>98%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>82%</td> <td>18%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0	学校関係者	100%	0%	0%	0%	0%	保護者	95%	5%	0%	0%	0%	児童生徒	98%	2%	0%	0%	0%	教職員	82%	18%	0%	0%	0%	
対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0																										
学校関係者	100%	0%	0%	0%	0%																										
保護者	95%	5%	0%	0%	0%																										
児童生徒	98%	2%	0%	0%	0%																										
教職員	82%	18%	0%	0%	0%																										

<p><b>5 友達と仲良く</b></p> <p>生徒は、友達と仲良く生活することができている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が95%、生徒が98%、教職員が95%となっている。</p> <p>◇高い数値を示しておりソーシャルスキルトレーニング等の成果であると考えられる。継続した実践を推進していきたい。</p>																														
<table border="1" style="margin: auto;"> <caption>友達と仲良く</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4</th> <th>評価3</th> <th>評価2</th> <th>評価1</th> <th>評価0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>95%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>98%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0	学校関係者	100%	0%	0%	0%	0%	保護者	95%	5%	0%	0%	0%	児童生徒	98%	2%	0%	0%	0%	教職員	95%	5%	0%	0%	0%	
対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0																										
学校関係者	100%	0%	0%	0%	0%																										
保護者	95%	5%	0%	0%	0%																										
児童生徒	98%	2%	0%	0%	0%																										
教職員	95%	5%	0%	0%	0%																										

<p><b>6 環境づくり</b></p> <p>生徒は、美しい学校づくりに努めている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が89%、生徒が93%、教職員が77%となっている。</p> <p>◇担当で、掃除前のすばやい移動の呼びかけ放送等もしていただいているが、生徒自身の勤労意欲やどこをどのようにきれいにすべきかのアイデアが持てるように生徒を育てていく必要がある。生徒会環境委員会等の活動の大きな柱として取り組んでいくことも考えられる。</p>																														
<table border="1" style="margin: auto;"> <caption>環境づくり</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>評価4</th> <th>評価3</th> <th>評価2</th> <th>評価1</th> <th>評価0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89%</td> <td>11%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>93%</td> <td>7%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>77%</td> <td>23%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0	学校関係者	100%	0%	0%	0%	0%	保護者	89%	11%	0%	0%	0%	児童生徒	93%	7%	0%	0%	0%	教職員	77%	23%	0%	0%	0%	
対象者	評価4	評価3	評価2	評価1	評価0																										
学校関係者	100%	0%	0%	0%	0%																										
保護者	89%	11%	0%	0%	0%																										
児童生徒	93%	7%	0%	0%	0%																										
教職員	77%	23%	0%	0%	0%																										

7   学習への取り組み	学校から(％は、評価4と評価3の割合)
生徒は、学校での学習に励んでいる。	学校関係者が100%、保護者が79%、生徒が96%、教職員が86%となっている。
	<p>▲生徒と保護者の意識の差が大きい。</p> <p>◇「より主体的に学習に取り組める」ように「意欲を高める手立て」、「主体的な活動を促す指導法」等について校内研修等を中心に組織として今後も取り組んでいく必要がある。ICT活用も大きな鍵となるためICT活用委員会を中心とした活用方法の提示等も必要になると考えられる。</p>

8   学習の理解	学校から(％は、評価4と評価3の割合)
生徒は、授業がよく分かっている。	学校関係者が100%、保護者が64%、生徒が85%、教職員が59%となっている。
	<p>OR2年度と比べ生徒の数値は8%向上している。</p> <p>▲生徒と保護者・教職員の意識の差が大きい。教職員についてはR2年度と比較して、24%低下している。</p> <p>◇全学調の課題を踏まえ、授業では「自分の考えを発信していく場の設定」や「基礎的基本的事項の定着確認の場」を設けるなど全教科で授業改善の視点を持ち、学力向上に取り組んでいく必要がある。また学習の状況等を保護者にも発信することも重要であると考ええる。</p>

9   家庭学習(予習復習)	学校から(％は、評価4と評価3の割合)
生徒は、家庭学習(予習や復習)に取り組んでいる。	学校関係者が100%、保護者が60%、生徒が80%、教職員が73%となっている。
	<p>▲生徒と保護者の意識の差が大きい。またR2年度と比較して教職員評価が6%低下している。</p> <p>◇保護者の評価が一番低くなっている。ご自分のお子さんの取組の様子からそのように判断された結果と思われる。家庭学習の質的転換について保護者と課題意識を共有しながら校内研修で検討、提案、実践していく必要がある。また、タブレットの有効活用についても今後検討していく必要がある。</p>

10   読書	学校から(％は、評価4と評価3の割合)
生徒は、よく本を読んでいる。	学校関係者が100%、保護者が36%、生徒が55%、教職員が43%となっており、R2年度との比較でも大きな差は見られない。
	<p>◇朝自習の取組で読書活動を推進しているが数値の向上はあまり見られていない。全項目中の評価が一番低い項目である。読書や学習を行う時間が情報端末の影響を受けていることも考えられるため基本的な生活習慣確立の観点と併せた対策が必要である。</p>

11   食に関して	学校から(％は、評価4と評価3の割合)
生徒は、給食や家庭での食事では好き嫌いなく何でも食べている。	学校関係者が100%、保護者が79%、生徒が80%、教職員が48%となっている。
	<p>▲R2年度と比較して生徒が8%、教職員が32%低下している。</p> <p>◇生徒と教職員の数値の低下については、本年度食育の取組を実践していく中で、食に関する意識が高まったためと思われる。食育については啓発活動等を定期的に行うとともに実践力についても高めていく必要がある。</p>

12   心身ともに健康な生活	学校から(％は、評価4と評価3の割合)
生徒は、心身ともに健康な生活を送ることができている。	学校関係者が100%、保護者が90%、生徒が90%、教職員が77%となっている。
	<p>▲R2年度と比較して教職員の数値が14%低下している。</p> <p>◇本年度は豊かなスポーツライフの基盤づくりを目指してニュースポーツタイムの実践やソーシャルスキルトレーニング等の実践を行っており、ある程度の成果が見られた。しかし教職員の数値が低下しているのは、情報端末の不適切な使用による生活への影響があると考ええる。規則正しい生活についての家庭への啓発を積極的に行っていく必要がある。</p>

<p><b>13 運動について</b></p> <p>生徒は、体育や部活動で体づくりに取り組んでいる。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が82%、生徒が86%、教職員が86%となっている。</p> <p>▲R2年度と比較して教職員は、14%数値が低下している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための部活動停止期間の影響を受けたものとする。</p> <p>◇生徒、保護者、教職員ともに概ね取り組むことができているという評価であるが、部活動未加入生徒も一定数いることから教科体育の充実やニュースポーツなど全校的な取組を継続していく必要がある。</p>

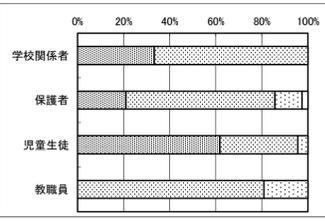
<p><b>14 家庭・地域との連携</b></p> <p>稜南中では、地域と連携した教育活動ができていると思う。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○学校関係者が90%、保護者が83%、生徒が88%、教職員が73%となっている。</p> <p>▲R2年度と比較して教職員は、23%低下している。新型コロナウイルス感染症対策の影響が出ているものとする。</p> <p>◇新型コロナウイルス感染症の影響で地域との関わりが少なくなってきたが、今後、学校運営協議会の方々の御意見等も伺いながら、連携の機会を広げていきたい。</p>

<p><b>15 学校情報の定期的発信</b></p> <p>稜南中は、学校だよりやホームページ、学校メール等で情報発信を行っている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>○学校関係者が100%、保護者が94%、生徒が94%、教職員が100%となっている。</p> <p>◇学校メールやホームページの活用を推進し、高い評価を得ることができている。今後も「地域に元気を届ける」ために積極的な情報発信に努めていきたい。</p>

<p><b>16 キャリア教育について</b></p> <p>生徒は、自分の将来を考え、目標を立てて取り組むことができている。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が56%、生徒が75%、教職員が59%となっている。</p> <p>▲R2年度と比べ教職員が16%低下している。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、職場体験学習等が中止となったためと考えられる。</p> <p>◇今後、積極的な情報発信や新しいキャリア教育の方法を模索していく必要がある。</p>

<p><b>17 生徒を大切にされた教育</b></p> <p>私は生徒を大切にされた教育を行っていると思う。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が88%、生徒が93%、教職員が100%となっている。</p> <p>◇一人一人の生徒を大事にした教育を行うことは、学校教育の基本である。そのためにもそれぞれの生徒にしっかり向き合うとともに、指導や助言・支援等をする場合には、それぞれの生徒が指導や助言等のねらいをしっかり理解できるように丁寧な対応を一層心がけていくようにする必要がある。</p>

<p><b>18 教師への相談</b></p> <p>私は生徒に教育相談等きめ細やかな指導ができていると思う。</p>	<p style="text-align: right;">学校から(％は、評価4と評価3の割合)</p> <p>学校関係者が100%、保護者が86%、生徒が87%、教職員が86%となっている。</p> <p>▲R2年度と比較して生徒が6%低下している。</p> <p>◇教育相談については、生徒が相談しやすい体制づくりを行うことが重要である。そのために生徒と向き合う時間を作るための働き方改革の推進やスクールカウンセラー等の専門家を活用した相談体制の確立を進めていきたい。</p>

19 適切な評価評定	学校から(％は、評価4と評価3の割合)										
私は、生徒の実態をよく把握し、適切な評価・評定ができている。	学校関係者が100%、保護者が86%、生徒が96%、教職員が81%となっている。										
 <table border="1"> <caption>適切な評価・評定の割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校関係者</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>81%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	割合 (%)	学校関係者	100%	保護者	86%	児童生徒	96%	教職員	81%	<p>○R2年度との比較では、保護者の数値が5%向上している。</p> <p>▲R2年度との比較では、教職員の数値が7%低下している。</p> <p>◇保護者・教職員の評価が他と比べて低い評価となっているが、評価・評定の適切さも含めて、学力面で十分伸ばしているのかの思いもあると捉える必要がある。今後とも評価の精度を高め、適切な評価を行うために「指導と評価の一体化」に向けて、校内研修を中心に学校全体で授業改善を図るようにする。</p>
対象者	割合 (%)										
学校関係者	100%										
保護者	86%										
児童生徒	96%										
教職員	81%										